

【教育活動の名称】 学校司書との連携を密にした学校図書館運営

【副題】 新教科書紹介図書を用いて

【学校名】 近江八幡市立 安土小学校

1 本校の概要

本校は歴史と自然に恵まれた土地にある、在籍児童数約 600 人の小学校である。織田信長の居城として知られる安土城跡をはじめ、かつての城下町の名残が多く残っている。また、校区の北側には西の湖や大中地域の田畑が広がっている。毎年、4 年生では「西の湖学習」として西の湖を題材にふるさと学習や環境学習に取り組んでいる。また、3 年生では大中地域を訪れ、農畜産物について知る学習に取り組んでいる。これらをはじめとする総合的な学習の時間や、国語科の学習において、学校図書館やその蔵書を活用する学習に非常に熱心に取り組んでいる。学校司書が週 2、3 日配置されており、各担任と連携して図書の紹介や資料の収集、図書を使った授業の提案などを行っている。しかし、本校の図書室は子どもたちの教室から離れた場所であり、休み時間の利用者数は少ないのが現状である。また、蔵書も古いものが多く、特に今年度から使用する新しい教科書に紹介された図書で蔵書にあるものは非常に少ないという状況である。

2 取り組んだ内容

(1) 1 年生の読書活動

今年度、「就学前施設で行っている図書活動を 1 年生でも行う」という研究の協力校として、1 年生の学習の中で図書を使った取組を行った。特に、年間を通して生活科・国語科の学習の一環で行っている「読んでみーな」という活動では、学校司書が選定した図書の中から自分が読みたい本を見つけて読むというところを行っている。今回購入した本の中からも数冊選定されていることがあり、子どもたちは喜んで手に取り、本を読む姿が見られた。



特に本校の絵本は蔵書が古いものが多かったため、今回購入した絵本は子どもたちにとって非常に魅力的に映った様

子であった。また、1 年生の国語科の学習で「昔話を読み、親しむ」というものがある。今回購入した絵本を用いて、読み聞かせの活動を行った。「この話、知ってる」という子も興味津々で読み聞かせを楽しんでいた。また、多くの子が絵本に集中しており、次はどうかドキドキしながらお話を楽しんでいた。



(2) 学校司書と連携した、各学年への図書の紹介

本に親しむ環境づくりとして、「手軽に本を手にとれる場所を」と、昨年度より職員室前に図書コーナーを設け、季節やテーマにあった図書の紹介を行っている。また、今年度から各学年に 1 台ブックトラックが配備されたこともあり、各学年の廊下に図書コーナーを配置した。学習で使う図書や、教科書で紹介されている図書を朝学習や隙間の時間に楽しんでもらえるように、各学年の希望や実態に合わせて配備を行った。毎週木曜日の朝学習の読書の時間や、調べ学習を行う際、ブックトラックの前に多くの子どもたちが集まり、本を探すようになった。



3 活動の成果

本を読むことへの抵抗が低くなり、学校図書館に行こうとする子が増えたことが 1 番の成果と考えている。現時点で学校図書館の年間貸出し冊数は昨年度に比べて 1000 冊以上多くなっている。これは、学校図書館で本を読もうとする子どもが増えた結果によるものと考えている。また、教師も学校司書へ本の収集、廊下への配架を依頼することが増えたため、子どもたちが選びやすい本を手にとる機会を増やすことができた。司書との連携の成果だといえる。